

# V 今井町写真



① 今井まちなみ交流センター「華葦」



⑦ 重要文化財今西家住宅



町並み



町並み

**今井町の歴史** 戦国年代(1559頃)、本願寺の今井兵部によって建てられた称念寺が一向宗の布教拠点とした。野武士・盗賊・他宗派の攻撃を避ける為に、周辺に濠と土居を巡らせ、僧侶や門徒を守る武力が備えられた。一向宗は織田信長と敵対しており、濠を深くし嚴重武装で反抗していたが、本家本願寺の降伏に伴い武装放棄した。徳川時代(1630年頃)になって商工業都市として発展。俗に、「**今井千軒**」「**海の堺 陸の今井**」と呼ばれるほどに発展。1680年頃、幕府領として支配されたが、多くの農村が20~30軒程度だった時、一千軒も有する大都市としてゆうぐうされた。商品(肥料・木綿・味噌・酒など)の取引が盛んで、大名相手の金融業者も活躍し、「**大和の金は今井に七分**」と言われるほどに繁栄。この財力から幕府は他とは違う支配体制で優遇し、警察権などを与え、自治的特権が与えられる。明治維新(1867年)で富豪が消滅したが、大正時代の鉄道開通時に駅建設に反対したため、都市化がまぬかれ町並みが保存された。1957年今西家が重要文化財に指定されたことをきっかけに、現在**重要文化財9件**、**県指定文化財3件**が指定されている。1993年、国の「**重要伝統的建造物群保存地区**」として選定され、現在に至っている。

## 重要文化財の建築年代



- ① 華葦 1903年
- ① 高木家 19世紀前半
- ② 河合家 19世紀前半
- ③ 中橋家 18世紀後半
- ④ 称念寺 17世紀初頭
- ⑤ 豊田家 1662年
- ⑥ イブキ大木
- ⑦ 今西家 1650年
- ⑧ 上田家 1744年
- ⑨ 音村家 17世紀後半



鬼瓦



煙抜



壁



駒繫